



ブリティッシュ・
カウンシルの
講師に聞く

IELTS テストのコツ

by Peter Brereton

今回はスピーキングテストの対策について解説する。
3つのパートごとに問われる内容を知り、
スコアをアップさせるための解答のコツを覚えよう。

面接官は何を評価している?

IELTS アカデミック・モジュールのスピーキングテストでは、11～14分の間、一人の面接官を相手に試験を受けます。IELTSの中で、最も緊張するセッションだと言えるでしょう。面接官は受験者を、以下のような観点で評価します。

- 発音**: 分かりやすい英語かどうか。個々の音を正確に発音できるか、またつながる音もうまく発音できていて、イントネーションが自然かどうか。
- 語彙**: 高度な語彙が使いこなせるか、繰り返しを避けるため、同義語や言い換えがうまくできるか、イディオムを駆使することができるか。
- 文法の使用範囲と正確さ**: 条件文や受動態など複雑な文を作ることができるか、ミスなく長い文を作れるか。過去・現在・未来を表現する際に適した時制を使って文を組み立てられるか。
- 流暢さと一貫性**: ためらいなくある程度の長さで話せるか、考えを論理的にまとめるために接続語や表現を用いて文をつなぐことができるか。

多少のミスがあったからといって、それですべてが終わりというわけではありません。完璧に話すことができなくても、全体的に高度な話し方を維持すれば、高スコアが獲得できる可能性はあります。評価基準は、下記を参照してください。

http://takeielts.britishcouncil.org/sites/default/files/IELTS_Speaking_Assessment_Criteria_Public.pdf

試験は身近なテーマからスタート

それでは、個々のパートを見ていきましょう。

Part 1 自己紹介・あいさつ (4～5分)

最初の質問はたいいてい、仕事や勉強、住んでいるところなどについて問われ、その次に、家族や趣味などについての質問があります。自分にとって身近なテーマなので、比較的楽な気分で見守ることができるでしょう。

Part 1 で尋ねられる可能性がありそうな質問については、あらかじめ答えを準備しておき、幅広い語彙と文法を駆使して答えられるようにしておいてください。趣味は何かと聞かれて、ひとりで終えてしまうようではいけません。質問と答えの例を

1つ挙げてみます。

〈質問と解答例〉

Question: Do you like reading?

Answer: Err...not really to be honest! I guess I used to read a lot when I was a kid; we had to read novels at school and I had a subscription to a manga magazine but to be honest what I read most nowadays is e-mails from my boss! I tend to read the newspaper at weekends if I have time; I like being able to catch up on the news from the week.

〈日本語訳〉

質問: 読書は好きですか?

答え: あの……正直なところ、あまり好きではありません! 子どもの頃はたくさん本を読んでいたと思います、学校で小説を読まなければならず、またマンガ雑誌を定期購読していました。しかし、正直に言って、今私が最もよく読んでいるのは、上司からのメールです! 時間があれば週末は新聞を読んだりします。その週のニュースを把握しておきたいからです。

Part 2 スピーチ (3～4分)

面接官から、下記のような課題が書かれた紙を渡されます。(本番では英文)

自分の国で、人々が訪問してみたいと思う場所について説明しなさい。以下のようなことを含めること:

- その場所がどこにあるか
- 通常、どのようにしてそこまで行くか
- そこで何ができるか

紙を渡された後1分間、メモを取りながら、何を話すか考えをまとめる時間があります。このときに、話す文章を全て書き出そうとするのではなく、大まかな流れを決めておきましょう。導入としては、例えば以下のようなものが効果的です。

〈解答例〉

"Well, Japan is famous for its many beautiful

places that attract visitors. There is something to suit everyone, from Hokkaido in the north, which is stunning, although a little chilly in winter, to the tropical islands of Okinawa in the south with its gorgeous sandy beaches. However, one place that I think visitors particularly like is Kyoto."

〈日本語訳〉

そうですね、日本には訪れる人を魅了する美しい場所がたくさんあります。誰にでも合うところがあるかあります。北は北海道、冬はちょっと寒いですが、素晴らしいところです、南は沖縄の熱帯の島、素敵な砂のビーチがあります。しかし、訪れる人が特に気に入る場所として私が1つ考えられるのは、京都です。

この場合、自分の経験や感想など、課題文に含まれていない要素を加えてもかまいません。豊富な語彙を使えることを示しつつ、少なくとも20秒くらいは話せるようにしておきましょう。

「時間稼ぎ」のフレーズを覚えよう

Part 3 ディスカッション (4～5分)

Part 2に関連したテーマにつき、面接官とディスカッションを行います。自分のことを語るのではなく、抽象的な事柄について、一般論として話せるようになっておきましょう。

ディスカッションの間、理由を示したり、現在と過去を比較したり、利点・欠点を挙げたりすることが求められるかもしれませんが、頭の中で考えながら話を進めるのは大変です。次のような「時間稼ぎ」の表現を使えるようになっておきましょう。

I've never really thought about that before.

これまでそれについて考えたことがありませんでした。

That's a really interesting question.

それはとても興味深い質問ですね。

面接官の言うことがよく理解できなかったときは、もちろん繰り返し言ってくれるよう頼んでもかまいません。自信を持って試験に臨みましょう。

IELTS™



IELTS.
The international
license.

IELTSという名の 国際免許証

IELTS (International English Language Testing System、アイエルツ) は、英語圏への留学や、移住を志す人の英語能力を評価するために作られたテストです。信頼性、公平性の高さからイギリス、オーストラリア、アメリカ、カナダを始め世界135カ国で約8,000の機関が、IELTSを受け入れ基準として認めています。2012年の全世界合計の受験者数は200万人に達し、英語能力試験のグローバルリーダーの役割を果たしています。

日本では、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、岡山、福岡、札幌、仙台、金沢、埼玉、松本、高知で受験することができます。

お問合せ・受験申し込みは、
公益財団法人 日本英語検定協会 IELTS 事務局まで
www.eiken.or.jp/ielts

IELTSとは…

16歳以上を対象にしたテストで、英語で授業を行う大学や大学院に入学できるレベルに達しているかどうかを評価するアカデミック・モジュールと、英語圏で学業以外の研修を考えている方向けのジェネラル・トレーニング・モジュールの2種類があります。いずれも、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのテストで構成されています。



ブリティッシュ・カウンシルでは、IELTS試験対策コースを開講中!!
www.britishcouncil.or.jp

f 勉強法や留学した人の体験談がわかる
<http://www.facebook.com/IELTS.BritishCouncilJapan>

英検 公益財団法人
日本英語検定協会

BRITISH
COUNCIL

公益財団法人 日本英語検定協会は、
ブリティッシュ・カウンシルと日本での
IELTSを共同運営しています